

けつあつみやくは 血圧脈波の検査について

食事や運動、喫煙、飲酒、ストレスなど生活習慣に係深い病気、生活習慣病が増加しています。中でも、動脈硬化には特に注意が必要です。

動脈は、心臓が強い力で押し出した血液が流れるので、弾力性と柔軟性を持っています。しかし、年を重ねるとともに、血管も老化現象が起こり、弾力性が失われ、硬くなり、内部にさまざまな物質が沈着して血管の通り道が狭くなり、流れが滞るような状態になります。このような状態を「動脈硬化」といいます。

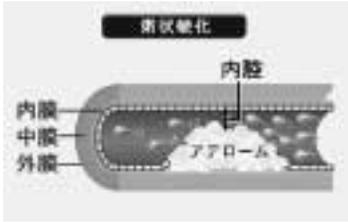


図1 糊状動脈硬化

これが細い動脈に起きた時を細動脈硬化、比較的太い動脈に起きた時を粥状動脈硬化(図1)といいます。

動脈硬化は、自覚症状がなく進行し、また心臓病や脳血管障害などいろいろな病気を引き起こします。動脈硬化が原因で、身体にさまざまな症状が現れているものを「動脈硬化症」といい、脳梗塞、脳出血、心筋梗塞や狭心症、大動脈瘤、腎不全などの重篤な病気につながる危険性が高くなります。

西伯病院では、「血圧脈波検査装置」を使って、動脈の硬さや血管年齢等を測定して、動脈硬化の早期診断を行っていますので、一度検査を受けてみられてはいかがでしょうか。

検査技師長 潮 英泰



血圧脈波検査装置



↑ 玄関ホールの一式飾りが「いのしし」にかわりました。法勝寺自治会(6区)の皆さま、ありがとうございました。

今年は外来中庭に筍が10本生えてきました。↓



西伯病院の人事異動

◇採用

5月7日付

西谷 真理子 (看護師)

◇退職

4月30日付

広兼 祐二 (内科医長)

宮本 恵子 (看護師)

第9回健康講座のご案内

期 日 6月19日(火)
時 間 午後1時30分~午後2時30分
場 所 西伯病院1階 地域交流ホール
講 師 村田先生(外科)
内 容 「あぶない腹痛」について

病院へ行くまでもなく治ってしまう腹痛はどなたにも経験があるものでしょう。しかし、腹痛は身体があなたに異常を知らせる危険信号です。なかなか治まらない腹痛には、素人判断では“あぶない腹痛”もあります。

腹痛について、わかりやすく説明しますので皆さんお気軽にお出かけください。